

▼有田コンピュータの目的▼

有田コンピュータは「IT事業を通じ地域に貢献する事」

「顧客のパソコンによる業務改善を追求し、互いに利益を創り出し発展していく事」を目的として活動しています。

この春のパソコン選び

春は新生活を始める季節。

中にはパソコンを購入される予定の方もいることでしょう。

Windows Vista発売後、パソコンに要求される性能はいままで以上のものが求められるようになっていきます。



3つのポイント

CPU

CPUの性能がパソコンそのものの性能を大きく左右しています。CPUの動作速度（周波数）はMHzやGHzといった単位で表され、一般的にこの数字が大きいほど高性能のCPUになります。

最近のWindowsはデュアルコアを上手に使うように設計されています。周波数の大きい従来のシングルコアより周波数の低いデュアルコアのほうが速いです。

【ワンポイント】

速いCPUの大きな目安として、デュアルコアであることがポイントとなります。



ハードディスク

データを記憶しておくための装置です。ここにはパソコンを動かすために必要なデータや文書や画像などのデータがすべて保存されています。CドライブやDドライブといったのがこれにあたります。

ハードディスクは回転数によってかわってきます。デスクトップは7200rpm（7200回転）のものが主流ですが、ノートパソコンは消費電力や規格の違いなどがあるから速くても5400rpm（5400回転）のものがほとんどです。

【ワンポイント】

表記は、あまりされてないのでカタログなどで確認をしましょう。



メモリ

現在動いているソフトウェアの情報や、作成中の文書などの情報を一時的に記録するために使用されています。メモリの容量を増やすと、一度にたくさんのお仕事ができるようになります。

メモリの規格で速度が変わってきます。今、一番速いのはDDR3という規格で、その次に速いのがDDR2です。

パソコンが2つメモリを同時に使う「デュアルチャンネル」に対応していれば大丈夫でしょう。

【ワンポイント】

デュアルチャンネル対応か確認をしましょう。



編集者より： お客様のお役に立てるよう、有田コンピュータではWindows Vistaを導入します。ご質問などありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。(タナカ)